



AMX-89

ラーヌ織と浮織のトートバッグ

デザイナー / 岡本啓子 製作 / 木戸典子



2020 A/W

(1-3)

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
スペクトルモデム	No.51	①(モスグリーン)	2.8玉
	No.56	②(チャコール)	0.6玉
	No.45	③(紺)	0.4玉
	No.12	④(うす茶色)	0.2玉
	No.13	⑤(黄緑)	0.2玉
	No.41	⑥(エンジ)	0.1玉

●使用ヘドル…30羽 (30本/10cm)

●他に用意するもの…接着芯6cm×34cmを2枚、持ち手(長さ30cm・赤)1組、底芯(幅21cm×長さ11.5cm)1枚

●ヨコ糸密度…平織部分:41段/10cm、◆部分:86段/10cm

●織り上がり寸法…長さ79cm、幅34cm

●作り方

1 タテ糸を①で張る。

タテ糸の本数…119本

ヘドル通し幅…39.7cm

タテ糸の長さ…127cm

表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。

織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。

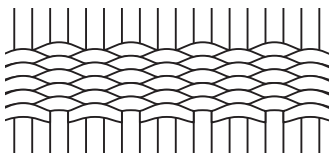
織るときは縮み分を考慮し、

打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。

※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

〈ラーヌ織〉

タテ糸が見えないようにつめて織る。

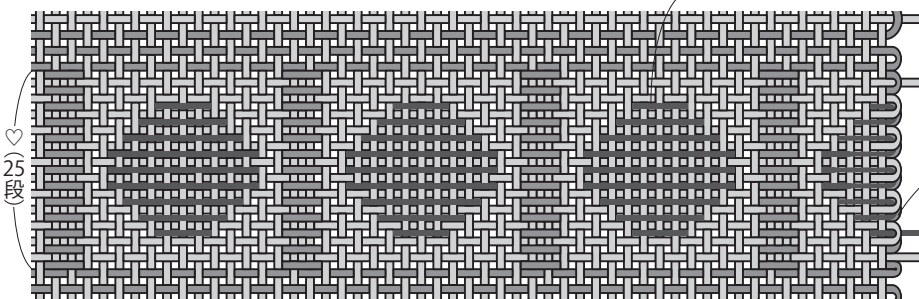


〈♡部分の配色と織り方〉

※●模様部分はヨコ糸③をくぐらせ、ヨコ糸①で浮き織りする。

ヨコ糸③、①を表に出さない部分は裏側で渡す。

●模様部分



♡
25段

糸が抜けないように端でヨコ糸どうしを絡める。

←ヨコ糸①
←ヨコ糸③
→ヨコ糸②

タテ糸13本

タテ糸6本

15本1模様をくり返す

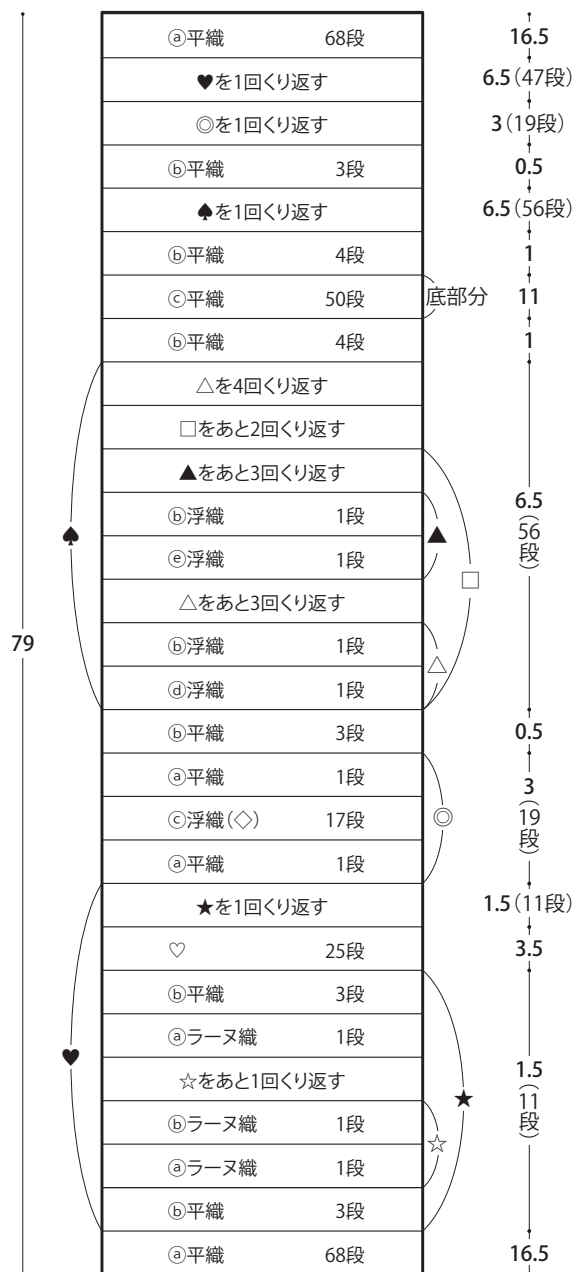
ヨコ糸③(2本くぐらせる)
ヨコ糸②(2本とばす)

2 ヨコ糸を配色どおり織る。

ラーヌ織部分はタテ糸を隠すようにきっちり詰めて織る。

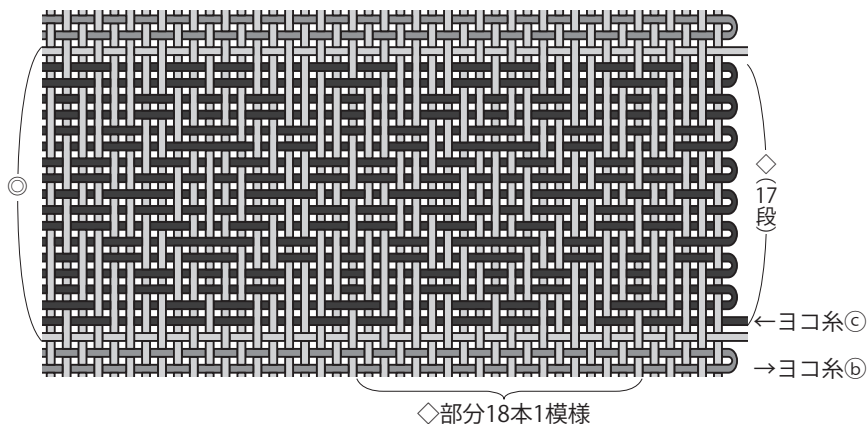
♡・◇・◆部分は図を参照して織る。

〈ヨコ糸配色〉



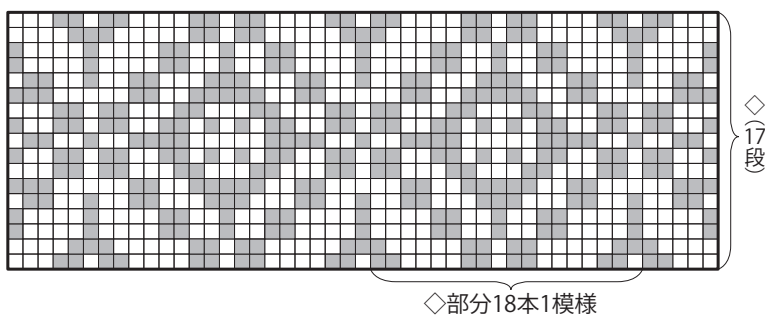
〈◇部分の織り方〉

※図の通り浮き織りする。



〈◇部分の模様図案〉

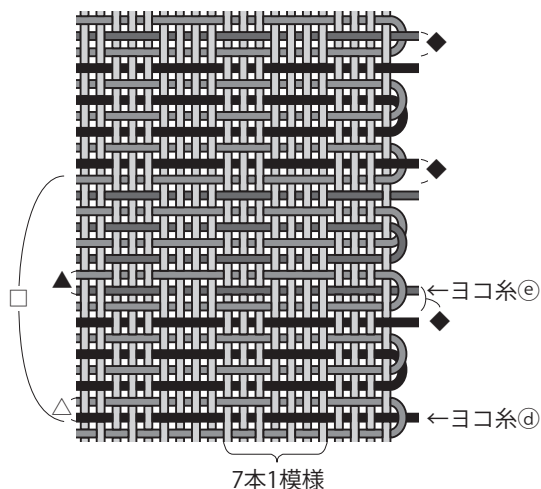
■ = ヨコ糸が上、タテ糸が下 □ = タテ糸が上、ヨコ糸が下



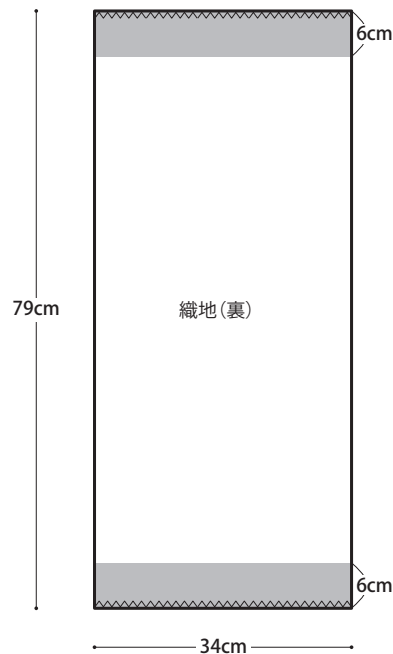
〈♠部分の織り方〉

※タテ糸を4本、または3本ずつとばして浮き織りする。

◆部分は同じ開口で2回糸を通す。
タテ糸が見えないようにつめて織る。

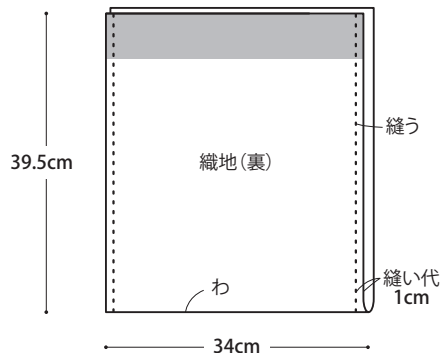


3 織地裏に接着芯を貼る。織端にジグザグミシンをかけ、フサを短く切る。 ■ = 接着芯

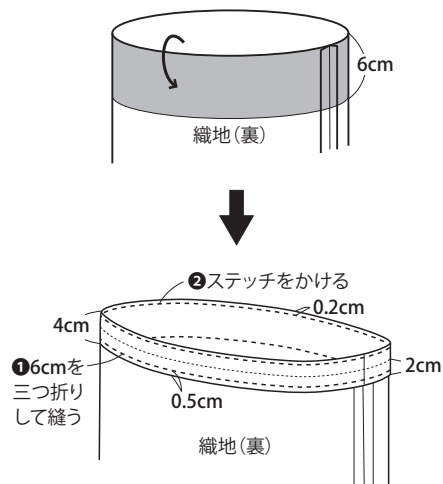


4 仕立てる。

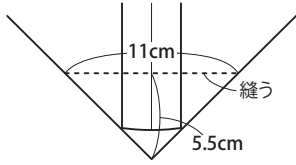
① 2つ折りにして脇を縫う。



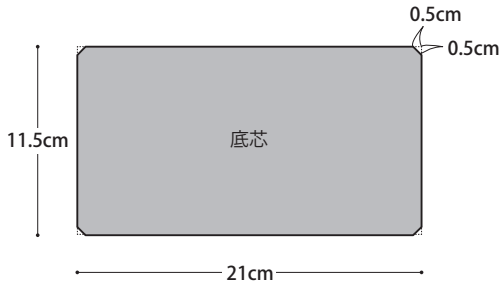
② 縫い代を割って口部分を内側に折り返し、縫う。



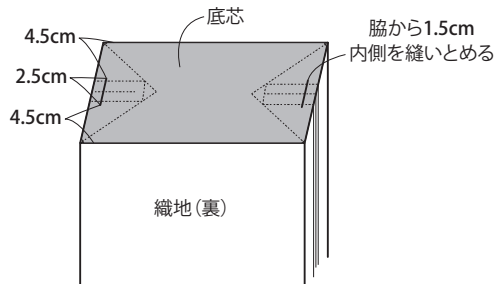
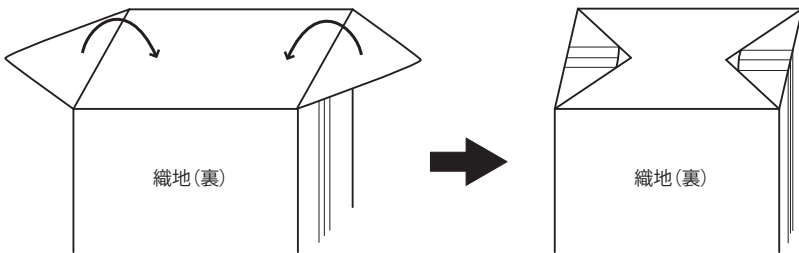
③底にマチをつくる。



④底芯の角をカットする。



⑤マチを底側に折りたたみ、底芯を重ねる。底芯をマチに縫いとめる。



⑥表に返して、持ち手を縫いつける。反対側も同様につける。

